

教員勤務実態調査の追加分析

* 資料中、「教諭」については、特に断りのない限り主幹教諭・指導教諭を含む。また、本資料の値はすべて10・11月の勤務実態であり、端数処理方法等については、本年4月28日公表の資料に準じる。

長時間勤務の教師の特徴

- 年齢や担任児童数等について、週当たり在校等時間が60時間未満の者と60時間以上の者の2グループに分類して比較したところ、週60時間以上の教諭は、「年齢が若い」、「担任（担当）する学級の児童生徒数が多い」、「担当部活動の活動日数が週6日以上である者の割合が高い」という特徴があることが確認された。

週60時間未満／以上在校等時間別 教諭の回答の集計結果

	小学校			中学校		
	週60時間未満	週60時間以上	差	週60時間未満	週60時間以上	差
	a	b	c=b-c	d	e	f=e-d
年齢	40.7歳	38.2歳	-2.5歳	43.2歳	38.4歳	-4.7歳
担任児童数（小）/授業担当生徒数（中）	24.1人	27.1人	3.0人	30.1人	32.2人	2.0人
部活動顧問のうち、担当部活動の活動日数が週6日以上である者の割合				5.6%	8.8%	3.2%

※上記は、令和4年度教員勤務実態調査への回答者のうち、無回答者を除いた教諭（指導教諭及び主幹教諭含む）の回答の集計結果の平均値。